

OSAKA SUPER CITY INITIATIVE

大阪府・大阪市スーパーシティ構想



スーパーシティ型国家戦略特区とは

日本では、「世界で一番ビジネスをしやすい環境」を作ることを目的に、地域や分野を限定し、大胆な規制・制度の緩和や税制の優遇を行う国家戦略特区を指定しています。

そのなかでも、大胆な規制改革と併せ、データ連携基盤を活用して複数分野の先端的服务を提供する「スーパーシティ型国家戦略特区」を設け、2022年4月に茨城県つくば市、大阪府大阪市を指定しました。

WEBSITE



データで広げる“健康といのち”

大阪は、世界有数の人口集積と経済規模を持つ都市です。

大阪・関西万博の開催をはじめ、多くの人々やモノの移動、交流が行われるグリーンフィールド（夢洲・うめきた2期）を実証・実装の機会として、大阪広域データ連携基盤（ORDEN）を活用したデータ連携を通じて主としてヘルスケアとモビリティの分野を中心に先端的服务を展開し、住民 QoL の向上と都市競争力の強化をめざします。

夢洲（大阪・関西万博会場イメージ）



提供：2025年日本国際博覧会協会

うめきた2期（大阪駅前複合開発イメージ）



提供：グラングリーン大阪開発事業者



**ヘルスケア**



ビジョン 豊かに暮らす健康長寿社会

先端国際医療

- ・先端国際医療サービス

主な先端的服务 **未来健康サービス**

- ・ヒューマンデータとAI分析などによる健康増進プログラム
- ・次世代PHRを活用した先端的服务の高度化



**モビリティ**



ビジョン ストレスフリーな最適移動社会

スマートモビリティ

- ・レベル4相当の自動運転の実施
- ・MaaSによる移動の円滑化の実現

空飛ぶクルマ

- ・日本初の空飛ぶクルマの社会実装

MAJOR PROJECTS

2025 年度

大阪・関西万博

テーマ

いのち輝く未来社会のデザイン

サブテーマ

Saving Lives(いのちを救う)

Empowering Lives(いのちに力を与える)

Connecting Lives(いのちをつなぐ)



©Expo 2025



提供：2025年日本国際博覧会協会



©SkyDrive

空飛ぶクルマ

大阪では、2025年の万博時にSkyDrive社を始めとした4事業者の機体が運航する見込みです。

将来的に主要駅やビルの屋上、コンビニの駐車場、ウォーターフロントなど、市街地の様々な場所にポートが存在し、日常使いのモビリティとして空飛ぶクルマが普及し、便利で快適な移動ができる社会の実現をめざしていきます。

大阪ヘルスケアパビリオン

大阪府と大阪市が「REBORN」をテーマにオール大阪で出展する「大阪ヘルスケアパビリオン」では、未来の医療・健康サービス等を提供します。

PHRポッドにおいて来館者の健康に関するパーソナルデータ(心血管、筋骨格、肌・髪データ等)を取得し、これをもとに生成される25年後の「ミライの自分」アバターと出会います。

「ミライのヘルスケア」や「ミライの都市」に展開される様々な展示コンテンツを通じ、アバターも変化する「REBORN(生まれ変わり)」を体験できます。



▲ PHRポッド



▲ ミライの自分



▲ ミライのヘルスケア



▲ ミライの都市

大阪のスーパーシティの取組詳細はこちらから >



詳細はこちらから >>>>



大阪府・大阪市
スーパーシティ構想
PRムービー



大阪府 スマートシティ戦略部
特区推進課スーパーシティ推進グループ
E-mail: supercity@gbox.pref.osaka.lg.jp

WEBSITE



大阪市 デジタル統括室 戦略担当
(スマートシティ推進グループ)
E-mail: bb0006@city.osaka.lg.jp

WEBSITE

